助成財団がいま、
申請を電子化しないリスクとは

現代社会において重要なデジタル化の進展に伴い、
従来の紙の書類や手続きから、電子化への変革が必要不可欠となっています。

itup

電子申請について知る

電子申請では、インターネット環境があれば、助成金の申請作業がオンラインで完結するため、書類作成や郵送などの手間を省ける利点があります。申請情報をデータとして扱うため、申請部分だけでなく、審査・採択・合否通知・報告など以降のフローを含む一連の助成活動をウェブ上で管理することもできます。

手間・時間短縮

手続きをオンライン上で行うことで、煩雑な書類作成や郵送手続きが不要となり、効率的なプロセスが実現します。差戻や受領までのコミュニケーションなど、申請者・事務局、双方の手間や時間を大幅に節約できます。

申請者への利便性提供

電子申請により、いつでもどこでも申請が可能となり、時間的制約を受けずに手続きが行えます。さらに、進捗状況もリアルタイムで確認することができ、申請者の利便性が向上します。

効率化・見える化

多くの場合、電子申請に切り替えるタイミングで、申請部分のみならず以降のフローもWeb上で完結できる「助成業務システム」の導入が検討されます。申請情報をデータとして扱い、一元管理することで、申請プロセスの効率化・見える化が図れ、データの分析や活用も容易になります。

環境にやさしい

紙ベースの申請は大量の紙の使用や廃棄物の発生を伴いますが、電子申請への切り替えにより、環境に対する負荷を軽減できます。持続可能な環境保護に貢献し、社会的な意義も高めます。

アナログ申請のデメリットを知る

1

手間と時間の浪費

紙の申請書類の提出は書類の印刷・郵送を伴う提出が必要であり、申請手続きに時間・手間がかかります。

2

情報不備の連鎖

記入漏れなどの申請情報の不備は避けられず、申請者・担当者、双方の負担を増大させるだけでなく、審査など後続のプロセスにも深刻な影響を及ぼす可能性があります。

3

情報セキュリティの懸念

紙書類の物理的な保管により、情報の漏えいの危険性が高まります。万一の自然災害など未曽有の事態が発生した際には、情報の紛失や消失が懸念され、重大な問題を引き起こす可能性もあります。

4

データ活用の制約

紙ベースの申請は保管・参照が難しいだけでなく、統計分析やデータ活用が制約されることから、助成活動の効果測定や戦略的な判断が難しくなるリスクがあります。

電子化しないリスクを知る　ここがポイント！！

1 対応効率低下・コストの増加

手作業による申請受付は、作業負担が大きく、各フローで**誤りや問題発生のリスク**が高まります。**対応効率の低下や負担の増加**による悪循環も懸念されます。

2 デジタル化の潮流

デジタル化の潮流は助成業界も例外ではなく、多くの助成財団が電子化を採用しています。適切なタイミングで電子化を採用しない場合、**知識面での遅れ**も懸念され、遅れを取り戻すのが難しくなります。

3 競争力・団体イメージの低下

多くの財団が電子申請を推進し、電子申請を希望する申請者も増える中で、紙ベースの申請を続けると、不便な手続きにより申請者減少のリスクが生じる可能性があります。同時に、ステークホルダーに古臭さや**先進性の不足といった印象を与える可能性**も考慮すべきです。

4 データの非効率的な活用

非電子化の場合、膨大な過去の申請情報の検索や分析が困難です。**効率的に集計・分析・活用することが難しく、重要な情報を見落とす可能性**があるため、助成活動の効果測定や改善、助成財団の戦略的な意思決定が妨げられる可能性があります。

費用対効果を考える

助成財団は、予算の制約や他の重要な取り組みへの資源配分を考慮し、ITへの予算確保や投資が十分に行われていない場合が少なくありません。しかし、適切なIT投資は、申請プロセスの合理化やデータ管理の向上を通じて、助成活動の質を向上させる道を拓く重要なステップです。スムーズな申請プロセスの提供やデータセキュリティの担保という側面だけでなく、透明性の向上・効果測定の強化により、ステークホルダーとの信頼関係を築き、貴財団の使命達成と未来への持続的な成長を支えることになります。

情報収集

1 動画視聴

助成業務システムや、助成活動の省力化についてなど、助成団体向けの説明動画が配信されおり、短時間で概要情報の把握が可能です。

2 資料請求

助成業務システムといっても、価格・機能・開発期間・納期など様々。
まずはいくつか提供会社のWebサイトから資料請求して比べてみましょう。

3 問い合わせ

問い合わせのメリットは正確な最新情報を取得できること。導入の検討段階に関わらず、些細な事でも直接確認してみることは重要です。相談ベースの問い合わせをすることは非常にお勧めです。

ご紹介

1 【紹介動画】助成業務システムGraain（グラーイン）

サービス資料に基づいた契約型の業務システム Graain（グラーイン）の紹介、デモ画面を見ながら操作方法を詳しく紹介しています。
※簡単なフォーム入力後に営業担当からお送りする動画URLから視聴できます。

2 【資料】助成業務システムGraain（グラーイン）

初期費用不要、システム利用料金のみ、アカウント発行で即日利用を始められる、契約型の業務システム Graain（グラーイン）について、機能詳細・お客様の声・料金プランなど詳細な情報を掲載しています。
※簡単なフォーム入力で資料がダウンロードできます。

3 問い合わせ

株式会社イットアップは、10年以上前からフルスクラッチ（構築型）の助成業務システムをご提供して参りました。そのノウハウを基に、IT技術の発展に伴う技術的・価格的恩恵を最大限に受けられ、近年主流となってきている、Saasサービス（契約型）で助成業務システムGraainをご提供しております。助成申請の電子化や既存システムからの乗り換えなど、お客様のニーズに合わせた運用体制や円滑な移行方法など、具体的な支援策をご提案いたします。どんな些細なことでも構いません。どうぞお気軽にご相談ください。